

# Fairy TopIX 2017 候補作一覧

## ※推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

---

|         |                 |         |
|---------|-----------------|---------|
| 推1～推22  | 詰将棋メモ 出題        | P2～P15  |
| 推23～推28 | WFP作品展          | P15～P17 |
| 推29～推31 | 教材に使える作品展・詰将棋メモ | P18～P19 |

候補作は全31作。基本2017年にネット上に掲載された作品となりますが、発表が遅延した関係で2016年後半の作品が一部今期に入っています。また2017年度に出題されましたが、解答発表がまだの作品は来期の候補とさせていただきます。また今期は16手以上の作品が1作のみの為、短編・中長編の区分けをなくしております。ご了承下さい。

目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

## 推1 2016/11 はなさかしろう作

入れ替え作業のあっけない幕切れ 3手(変則初形)

「将棋を指していたので覗いてみたんだ」

「うん」

「局面はちょうど、初形配置から一対の駒の位置を入れ替えただけの状態だった」

「へえ。対局中だったということは、二歩や行き所のない駒はなかったんだね？」

「そう。王手放置もなかったよ。」

それで、続けて見ていたんだけど、3手で詰んでしまった」

「なるほど。手間の割にあっけない幕切れだったね。もう少し何か覚えてない？」

「見ていた3手のうちに飛車の手があったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？入れ替わっている駒と手順を教えてください。

<詰将棋メモ 第108回出題 第1番>

▲8八飛 △7二金 ▲5二金 まで3手

正解者：21名

## 推2 2016/11 Pontamon作

### 14折・5折・決め打ちを推理せよ 11手

「ホナン君、これは怪盗シニアからの予告状なんじゃが…」

「タイトルは『14折・5折・決め打ちを推理せよ』か」

「中を見てくれ。推理のヒントが書いてあるんだが、よくわからんのじゃ」

「どれどれ」

- ・11分で宝玉を頂く
- ・7分には3階を歩く
- ・同じところで会えるのは10分の一度だけ

か」

「3階と言っても、14棟のうちどの棟なのかを推理できれば良いのじゃが」

「待てよ、シニアは推理将棋好きだから、これは条件か？書き換えると

- ・11手で詰み
- ・7手目の歩の着手は3段目
- ・同が付く着手は10手目のみ

だな」

「おお、そうじゃ。3段目への7手目の歩の着手14通りと数が一致するな。ひとつに絞るなら多分〇筋だ。早速警部に連絡せにあ」

「博士、ちょっと待って。博士が〇筋に絞った理由はわからないけど、僕は違うと思うよ。これは警備の配置を間違えさせるための心理トリックだよ」

「なんと、そうなのか」

「シニア、心理トリックを見破ったぜ。博士、警部に〇棟の警備を強化するように伝えて！」

「間に合うと良いのじゃが…」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第108回出題 第2番>

▲9六歩 △9四歩 ▲9五歩 △9三香 ▲9四歩 △6二玉 ▲9三歩成 △7二玉 ▲8二と △同 玉 ▲9二飛 まで11手 正解者：20名

### 推3 2016/11 金少桂作

#### 完璧な対策 13手

「最近友人がよく10手前後で負けて帰ってくるので、明日の対局に備えて対策を考えてきたぞ！」

「どんなの？」

「まず、玉が陣外へふらふら出ていかないこと。二段目より上へ上がるのは危険すぎる。また、最初に玉から動かすのもあまりよくない。」

「確かに玉は守備駒から離れるべきじゃないね。」

「次に、自陣に敵駒が攻め込んでくるのに対処しないのはまずい。自陣に敵駒が侵入してきたらすぐに撃退するんだ。」

「ふむふむ。敵駒の侵入は絶対に許さない、と。」

「そして、最後に駒損しないこと。駒が取られたら、すぐにそれ以上の価値の駒を取り返すことだ。」

「完璧な対策だね！これならきっと勝てるよ！」

翌日

「わ～ん、13手で詰まされた～～。自陣に侵入してきた相手の駒は次の手で必ず取り返し、駒を取られても次の手で必ずそれ以上の価値の駒を取り返し、ちゃんと対策通りにしたのに。初王手でいきなり詰んでるなんて、こんなのないよ～～」

「2手目いきなり飛から動かすのもどうかと思うよ。やっぱり歩から動かすべきだったんじゃない？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第108回出題 第3番>

▲3六歩 △5二飛 ▲3五歩 △4二玉 ▲3四歩 △5一金右 ▲3三歩  
不成 △同 桂 ▲3八飛 △3二歩 ▲3三飛不成 △同 角 ▲3四桂 ま  
で13手 正解者：20名

## 推4 2016/12 渡辺秀行作

### 詰まされてもよし 10手

「平成29年に困んで29への着手で詰みだよ。詰上図に成駒はなかったんだ」  
「3手目の棋譜は58金上か。10手目に詰まされた方が金運が上がるのかね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第109回出題 第1番>

▲6八金 △3四歩 ▲5八金上 △5五角 ▲3六歩 △2八角不成 ▲3  
七桂 △同角不成 ▲4八銀 △2九飛 まで10手 正解者：18名

## 推5 2016/12 斧間徳子作

### 平成29年新年将棋大会 10手×2

A君「昨日の新年将棋大会はどうだった？」

B君「いやあ、正月早々ひどい目にあったよ。2連敗で予選落ちだよ。  
しかも2局ともたった10手で詰まされたんだ」

A君「へえ、それは残念だったね。けど10手で詰まされるって  
どんな将棋だったの？」

B君「1局目の相手はずっと同じ筋にだけ着手してきたんだ。2局目はこれと  
反対で、相手の指した5手はすべて異なる筋の着手だったな」

A君「じゃあ、全然違う戦型だったんだね」

B君「うん、けれど後で棋譜を見て気付いたんだけど、2局とも29の地点に  
着手があったんだ。平成29年の正月らしいと言えなくもないかな」

A君「どんな将棋だったかもう少し詳しく教えてよ」

B君「2局とも惨敗だったからあまりしゃべりたくないな。少しだけ言うと、  
1局目は同のつく手があったよ。2局目は駒不成の手が1回だけあったけど  
駒を成る手はなかったよ」

A君「そうか。どんな将棋だったかわかったよ」

さて、連敗した2局はどんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第109回出題 第2番>

▲4八玉 △3四歩 ▲3八玉 △3五歩 ▲3六歩 △同 歩 ▲3七桂 △  
3二飛 ▲2九飛 △3七歩成 まで 10手

▲7六歩 △3四歩 ▲6六角 △同 角 ▲5八飛 △1八角 ▲4八玉 △  
2九角不成 ▲5九金左 △5六桂 まで 10手

正解者：18名

## 推6 2016/12 Pontamon作

### 地味な指し初め 11手

「歩の突き合いで始まった今年の指し初めは地味だったね」

「派手な駒成りや目の覚めるような駒打ちもなく11手で平穩に終わってしまった」

「ま、お約束したかのように、17と29の着手はあったけどね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第109回出題 第3番>

▲1六歩 △3四歩 ▲1七桂 △4二玉 ▲2九飛 △3三玉 ▲7六歩  
△2四玉 ▲3三角不成 △1四玉 ▲1五歩 まで 11手 正解者：19名

## 推7 2016/12 DD++作

### 三羽のトリ 11手(香落ち)

- A「お、BとCで今年も指し初めやってるな」  
B「はい、今17地点で今年最初の駒トリがあったところです」  
C「17年の酉年だけにね！」
- A「ありゃ、そこ西暦でなのか」  
B「では29地点で今年2回目の駒トリを指しますね」  
C「29年の酉年だけにね！」
- A「いいねえ、指し初めらしくなってきた」  
B「お次は11手目に今年3回目の駒トリを指しましょう」  
C「1月1日で酉年だけにね！」
- A「しかも今駒を成ったからCの玉が詰んだな……って11手？ Bは後手じゃないのか？」  
B「香落ちの上手なんです。僕の11香をトリ除いて僕から指したんです」  
C「……」
- A「おい、C、何か言うんじゃないのかよ」  
B「頑張ってネタ振りしたのに」  
C「このネタは三連(トリプル)までなんだ。酉年だけにね！」  
A「やかましいわ！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第109回出題 第4番>

△3四歩 ▲1六歩 △4四角 ▲1七香 △同角不成 ▲5八飛 △2八香  
▲4八玉 △2九香成 ▲5九金右 △3九角成 まで 11手  
正解者：18名

## 推8 2017/3 Pontamon作

1条件の妙 11手

「角の着手が多かったけど11手で勝ったね」

「角を取って、それを使ったからさ」

「だから7手目に、44地点での“同角左不成”なんて手もできたんだね」

<詰将棋メモ 第110回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △5四歩 ▲5三角 △4四歩 ▲同角  
左不成 △5二玉 ▲3一角成 △5一金左 ▲5三角成 まで11手  
正解者：18名

## 推9 2017/3 Pontamon作

棋譜研究(9手目56金) 10手

「何やってるの？」

「研究室のコピー機が故障してるから、棋譜全体をデジカメで撮った画像をPCで整理しているんだ」

「この“10手詰め9手目56金”というファイル名の画像を見せてよ」

「上手に撮れているだろ。このファイル名さえあれば全手順が判るんだ」

「へえ、これだけで再現できるんだ。でも画像の転送や整理なんかしなくてもファイル名にした情報だけを手書きした方が早かったんじゃないの？」

「あっ…」

<詰将棋メモ 第110回出題 第2番>

▲7八飛 △3四歩 ▲6八金 △7七角成 ▲6六歩 △7八馬 ▲6七金 △6  
八飛 ▲5六金 △6九馬 まで10手  
正解者：18名

## 推10 2017/3 渡辺秀行作

### 遠隔詰その1 11手

「昨日の将棋11手で詰んだんだって？」

「うん。とどめは9段目の着手だったよ」

「2手目は初手と同種の駒で付き合ったけど、歩じゃなかったよ」

<詰将棋メモ 第110回出題 第3番>

▲9八香 △1二香 ▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二玉 ▲2一馬 △3三玉 ▲4三馬 △2二玉 ▲9九角 まで11手 正解者：18名

## 推11 2017/6 渡辺秀行作

### 同馬と寄る(その2) 9手

「また同馬と寄る手に参ったよ」

「そうか、また9手で詰んだんだね」

「うん、今度の同馬と寄る手は22だったんだ」

<詰将棋メモ 第113回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二玉 ▲1二馬 △3二玉 ▲3三角  
△2二銀 ▲同馬 まで9手 正解者：23名

## 推12 2017/6 Pontamon作

金は引く手に好手あり 10手

「師匠、10手で負けました。これが棋譜です」

「金は引く手に好手ありとは言うものの、78金引はいただけいな」

<詰将棋メモ 第113回出題 第2番>

▲7八飛 △3四歩 ▲5八金右 △7七角成 ▲6八金寄 △7八馬 ▲7七金 △6七馬 ▲7八金引 △4九飛 まで10手 正解者：23名

## 推13 2017/6 上谷直希作

上谷直希 作 全部馬！ 13手

「13手目に馬の手で詰みか」

「途中、成駒を含む4枚の駒を取ったのも先手の馬だったよね」

<詰将棋メモ 第113回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二玉 ▲1三馬 △3三玉 ▲3一馬 △1七香成 ▲5三馬 △2二玉 ▲1七馬 △1一玉 ▲4四馬 まで13手 正解者：23名

## 推14 2017/7 渡辺秀行作

同馬と寄る(その3) 9手

同馬と寄る(その3) 9手

<詰将棋メモ 第114回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △3二銀 ▲2一馬 △3一金 ▲同馬  
△6二銀 ▲4二金 まで9手 正解者：19名

## 推15 2017/7 Pontamon作

後手の42同龍 11手

「どうにか11手で仕留めたよ」

「どんな将棋だった？」

「後手に42同龍の手があったよ」

<詰将棋メモ 第114回出題 第2番>

▲7六歩 △4四歩 ▲同角 △5四歩 ▲7一角成 △4二飛 ▲7二銀 △4  
七飛成 ▲4二歩 △同龍 ▲6一馬 まで11手 正解者：18名

## 推16 2017/7 Pontamon作

同歩成には同で応じる 11手

「居玉を11手で詰ませたって？」

「唯一の駒成の同歩成に同で応じる手があったよ」

<詰将棋メモ 第114回出題 第3番>

▲7六歩 △7四歩 ▲4四角 △7五歩 ▲5三角不成 △7六歩 ▲7三歩 △  
7二金 ▲同歩成 △同銀 ▲6二金 まで11手 正解者：16名

## 推17 2017/9 NAO作

端に成る 9手

「9手で詰ませたって。どんな将棋だった？」

「端に成る手があったね。3回目の王手、2段目に銀を打つ手が決め手だったよ」

<詰将棋メモ 第115回出題 第1番>

▲7六歩 △5二金左 ▲3三角不成 △4二銀 ▲1五角成 △3三銀 ▲同 馬  
△4一玉 ▲3二銀 まで9手 正解者：14名

## 推18 2017/9 Pontamon作

タイガー(ダンシングクイーンB面) 10手

「懐かしい洋楽BGMで将棋の研究かい。昨日の将棋はどうだった？」

「着手は2つの筋だけの将棋で10手で勝ったよ。同じ駒を続けて指すことはなかったよ」

「ふ〜ん」

「そうそう、3手目以降は駒を斜めに動かす手だけだったね」

<詰将棋メモ 第115回出題 第2番>

▲3六歩 △3四歩 ▲4八玉 △4四角 ▲3八金 △3三桂 ▲3七玉  
△3五角 ▲4八銀 △4五桂 まで10手 正解者：13名

## 推19 2017/2 渡辺秀行作

連続移動 12手

「12手目に詰められて負けたんだって？」

「うん。僕が11手目に駒を取ったのがその局の唯一の駒取だったんだけど、その手は僕が同じ駒を丁度4連続で動かす手だったんだよ」

「へえ、相手はどんな感じに指してきたの？」

「たった3つの駒を順に動かしたただけだよ。最初の駒を連続で動かした後、次の駒を動かして、その後3つ目の駒を3連続で動かしたんだ」

<詰将棋メモ 第115回出題 第3番>

▲6八飛 △3四歩 ▲5八玉 △3五歩 ▲5六歩 △6六角 ▲5五歩  
△3二飛 ▲5四歩 △3四飛 ▲5三步不成 △5四飛 まで12手 正解者：11名

## 推20 2017/10 渡辺秀行作

24まで 9手

「おお、9手で詰んでいるとは。棋譜の最終手に24と書いてあるね」

「うん、金の着手の後、別の指し手があったから、15に着手していたよ」

<詰将棋メモ 第116回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △5二金右 ▲2一馬 △2四歩 ▲1五角  
△4二玉 ▲2四角 まで9手  
正解者：18名

## 推21 2017/10 NAO作

端に金 10手

「たったの10手で負けちゃった。初手から玉が動いて守り重視のはずだったのに」  
「〚右〚の付く手もあったけど、端に指した金の手が勝負を分けたね」

<詰将棋メモ 第116回出題 第2番>

▲5八玉 △3四歩 ▲7六歩 △8八角不成 ▲7八金 △7九角不成 ▲8八金  
△5九角 ▲9八金 △6八角右成 まで10手 正解者：18名

## 推22 2017/10 Pontamon作

端への桂成り 11手

「桂をどっちへ成るのか観戦していて興味津々だったよ」  
「10手目の金の着手を見て、次の止めの桂成りは端にしたんだ」

<詰将棋メモ 第115回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △2四歩 ▲2一馬 △2五歩 ▲2四桂  
△4二玉 ▲1五角 △5二金右 ▲1二桂成 まで11手  
正解者：18名

## 推23 2017/2 上谷直希作

11手目のピンメイトで詰まされちゃった。  
10手目は飛車を成るはじめてのチャンスだったのに

<第89回WFP作品展 89-10>

76歩 94歩 66角 93桂 同角成 42玉 83馬 32玉 65馬 42飛 44桂 まで 11手  
正解者：3名

## 推24 2017/4 Pontamon作

「昨日、6手目の棋譜だけで11手詰めの手順を限定できるかなとH氏に話したんだけど…」  
「もし、あったとしてもコンピュータの力を借りなければ人間の頭では解けないだろうね」  
「ところが、今日、2解あったと言って来たんだ」  
「それは凄い、人間業じゃないね」

<第91回WFP作品展 91-1>

76歩 42玉 44角 同歩 26歩 43角 25歩 32玉 24歩 42飛 23歩成 まで 11手  
76歩 54歩 44角 同歩 77桂 53角 65桂 42玉 53桂成 32玉 43角 まで 11手  
正解者：3名

## 推25 2017/5 Pontamon作

「最後の4手しか見ていなかったけど何手で詰んだの？」  
「10手だよ。偶数筋の着手は、君が見始める前にあった1回だけだよ」  
「駒成は、僕が見た3段目への歩成と最終手だけだよね？」  
「そうだよ」

<第92回WFP作品展 92-12>

76歩 32飛 33角生 同飛 46歩 37飛生 34歩 15角 33歩成 57飛成 まで 10手  
正解者：4名

## 推26 2017/8 Pontamon作

「初王手になる駒成の手で11手目に詰んだね」  
「ひとつの駒で、隅への不成、成、成駒の着手があったのは珍しいよね」

<第94回WFP作品展 94-10>

76歩 52玉 33角生 12香 42角生 99角生 31角生 11角成 62銀 99馬 53角成  
まで 11手  
正解者：3名

## 推27 2017/9 Pontamon作

「先輩たちが帰ったから盤を片付けようか」

「駒台には桂が一枚だけ。これは成桂を取ったものだよってたよ」

「この終局時の持ち駒になる最短手順だっかね」

「最終手は、勝った方から見て最奥から2段目なんだ」

「一体、何手で詰んで、どんな手順だったんだろう」

<第95回WFP作品展 95-7>

76歩 34歩 22角成 52金左 21馬 41玉 54桂 51金寄 42桂成 同銀 32角 まで  
11手

正解者：4名

## 推28 2017/10 Pontamon作

「歩の突き合いで始まり、11手で詰んだね」

「駒成はなかったね」

「駒成なしは見るけど、43銀打の棋譜は珍しいよね」

<第95回WFP作品展 96-13>

76歩 54歩 44角 42玉 71角生 51金左 41銀 32銀 同銀生 44歩 43銀打 まで  
11手 正解者：4名

## 推29 2017/3 Pontamon作

「大駒大活躍の10手で勝ったんだって？」

「小駒の手は初手と2手目だけで、駒成りもなく、空き王手の止めだったんだけど…」

「空き王手とは凄いね。けど、何なの？」

5「感想戦で『おなじ止めの手でも、この手順だったら両王手でしたね』と対局相手に指摘されたんだ」

<教材に使えるフェアリー作品展 ⑰ >

76歩 74歩 68玉 32飛 33角生 同飛 77玉 56角 66玉 36飛 まで 10手詰  
正解者：4名

## 推30 2017/3 Pontamon作

「町内の将棋大会の記録係をしたんだけど面白い発見をしたよ」

「素人だから思いがけない手を指したのかな？」

「2回目の王手で、たったの10手で詰んだのもそうだけど、驚いたのは初手は68地点の手で、止めが55地点への駒打ちだった対局が3局もあったんだよ」

<教材に使えるフェアリー作品展 ⑱ >

68金 34歩 58玉 77角生 66歩 54歩 67玉 68角成 56玉 55金 まで10手  
68飛 14歩 56歩 13角 55歩 68角生 58玉 59角生 54歩 55飛 まで10手  
68玉 34歩 76歩 88角成 98香 89馬 77玉 67馬 88玉 55角 まで10手  
正解者：5名

## 推31 2016/12 はなさかしろう作

### 2017(平成29)年・丁酉の指し初め 20手

「あけましておめでとう！ 指し初め中継見てきたよ」

「謹賀新年！ そうか、見逃したなあ…どうだった？」

「2017年にちなんで20手目が17回目の駒取りでね。そこで初王手がかかって詰んだよ」

「へえ、景気の良い取り合いだね。酉年だからかな？」

「うん、そうみたい。それから、29と11への着手もあったな」

「ほう、流れはわかったけど、手順を知りたいな。例えば他の干支の駒とか…」

「干支の駒？ ははあ。そうだねえ…後手が4連続で龍の手を指していたよ」

「なるほど。それにしても、酉の年らしいというか、あられもない将棋だねえ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第109回出題 第5番>

▲7六歩 △4二飛 ▲3三角成 △3二金 ▲4三馬 △9九角成 ▲5三馬  
△4七飛成 ▲3一馬 △8九馬 ▲1三馬 △6七馬 ▲2三馬 △3七龍  
▲3二馬 △3九龍 ▲2一馬 △2九龍 ▲1一馬 △4九龍 まで  
20手

正解者：18名

